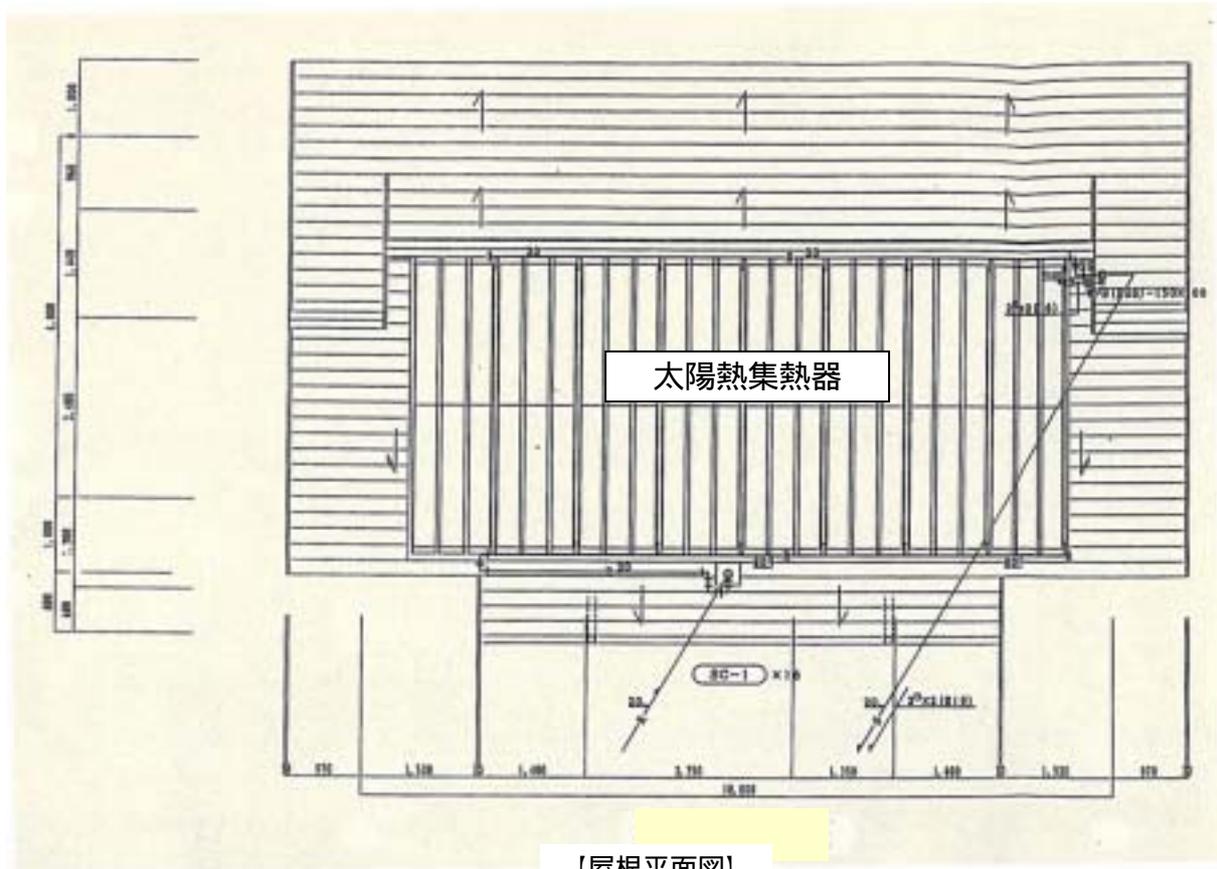


事例 NO.43		
事業の種類	建築物	
環境配慮の概要	太陽熱集熱器の導入による省エネルギーの推進	
事業名	国立・国定公園等整備事業（野呂山野営場新築機械設備工事）	
事業主体	広島県（担当機関：営繕室，設備工事室，呉地域事務所農林局）	
実施場所	広島県豊田郡川尻町野呂山	
実施期間	平成13年12月27日～平成14年6月28日	
事業概要	全体事業費	43百万円（請負工事費：約14百万円）
	施工区間等	野呂山野営場
	事業の目的・経緯等	野呂山野営場では，テントサイト，オートキャンプ場等，施設の整備を進めてきており，シャワー棟を整備することにより，利用者のニーズに対応した快適な公園利用を図ることとした。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>シャワー棟の屋根に，太陽熱集熱器を設置し，集められた熱を優先的に使用して省エネルギーに努める。</p> <p>（1）コインシャワー（6ユニット）の給湯用として，太陽熱集熱器（16枚）を設置し，5.6m<sup>3</sup>の蓄熱槽へ貯湯する。</p> <p>（2）補助熱源として，24号ガス給湯器2台を設置し，天候による影響に対応する。</p>	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽熱集熱器の稼動状況は良好である。</li> </ul>	
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>集熱器の設置場所や設置角度を十分検討する。</li> <li>自然公園内であるため，周辺樹木の将来の成長も考慮し，太陽熱集熱器に太陽光が十分当たるように建物の配置を計画する必要がある。</li> <li>集熱器の集熱面の清掃等，維持管理に努める。（集熱面の汚れは，集熱効果が低減させるため）</li> </ul>	

(図面, 写真, 説明)



【施工後の状況】

出典